

# 輪紋病に対する

# りんごの果実及び枝の罹病性

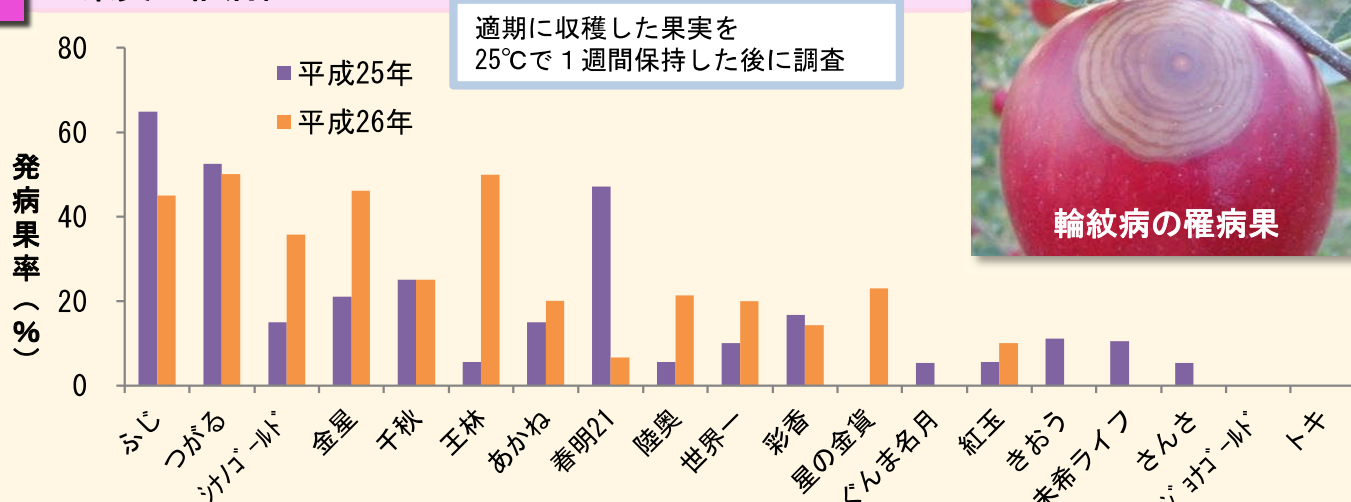
りびょう

りんご研究所

りんご輪紋病は果実と枝に発生する病害です。近年、伝染源である枝に形成された「いぼ皮病斑」の増加にともない、**果実での発病(腐敗)の増加が懸念**されています。そこで本病に対する主要なりんご品種の果実及び枝における罹病<sup>\*</sup>性を調査したところ、**品種間差異が明らかとなった**ので紹介します。

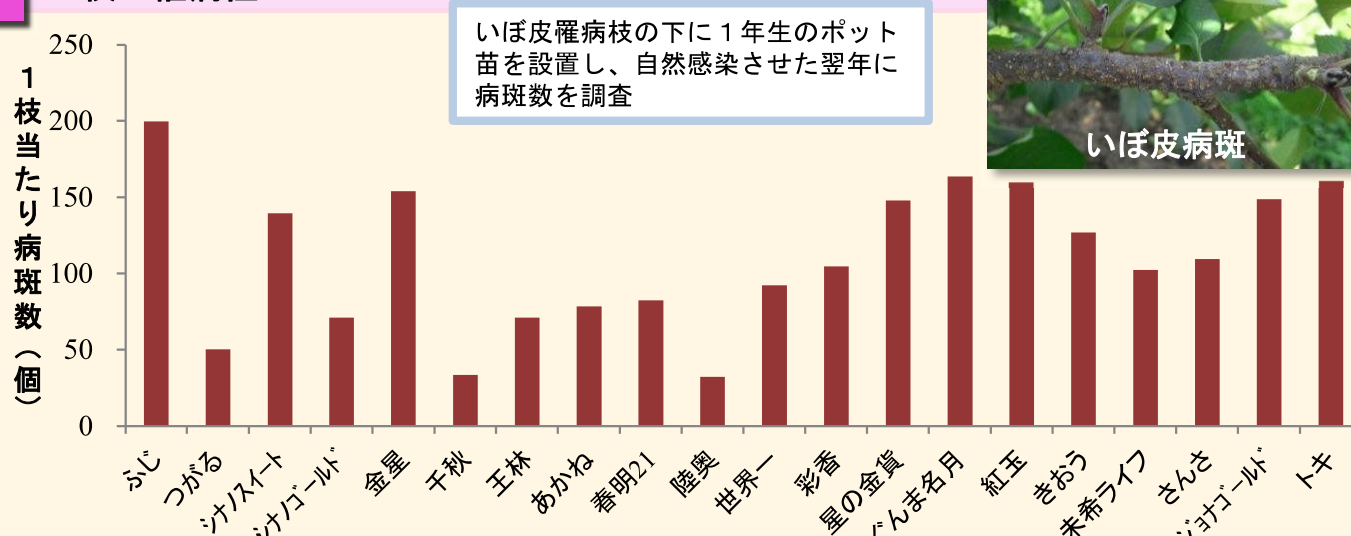
<sup>\*</sup>罹病: 病気にかかること

## 果実の罹病性



りんご輪紋病に対する 果実の罹病性 (平成25～26年)

## 枝の罹病性



りんご輪紋病に対する 枝の罹病性 (平成23年)

## 品種間差異

部位	発生しやすい品種	発生しにくい品種
果実	「ふじ」、 「つがる」等	「トキ」、 「ジョナゴールド」、 「さんさ」等
枝	「ふじ」、 「トキ」等	「陸奥」、 「千秋」、 「つがる」等

果実と枝における罹病性の品種間差異は必ずしも一致しません

## 期待される効果

品種選定の際の参考となります。

お問い合わせ

りんご研究所 病虫部 (Tel.0172-52-2331)